

HOTS エッセイ講座

正解が 1 つでない問いに向き合うアタマの使い方をトレーニング

自分で考えて、自分の意見を持ち、それを人に伝えるスキルを身につける

小論文・英文の段落の書き方を理解する



Higher Order Thinking Skills

高度思考技能

HOTS を学ぶ

コンテンツ		P
1	エッセイ講座とは（目的・トレーニングの流れ/思考プロセス）	1
2	知識をインプットする（HOTS 借文資料） 見本「好きな食べ物」	2～3
3	アイデアを書き出す（ブレインストーミング） 見本「好きな食べ物」	4
4	アイデアを型に沿って整理する① 「5 段落エッセイ」の型を理解する	5
5	アイデアを型に沿って整理する②（アウトライン） 見本「好きな食べ物」	6
6	説得力のある文章を書く（5 段落エッセイ） 見本「好きな食べ物」	7
7	書き出しの書き方（イントロダクション）	8
8	説明文の書き方（サポートセンテンス）	9
9	まとめの書き方（コンクルーディングセンテンス）	10
10	標準評価基準	11
11	標準セルフチェック表	12
12	メモ	13

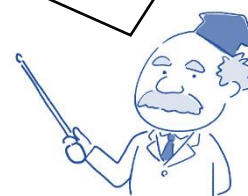
エッセイ講座で使用する文章の型は、5 段落エッセイです。この文章の型は、アメリカでは読者を説得するために用いられる 説得力のある Persuasive 文章 Essay の 1 つの型として利用されます。**当講座では、「エッセイ」という用語が日本の「随筆」と同義ではなく、「エッセイ = 文章」として解釈します。**そのため、エッセイとは、「随筆」に限らず、さまざまな書き方や目的を持つ文章を意味する用語であることを理解してください。

パースエイブ
Persuasive （説得力のある）

エッセイ
Essay （文章）

ホツ
HOTS (Higher Order Thinking Skills/高度思考技能)

5 段落エッセイはアメリカの学生も勉強しているんだよ！



イラスト作者紹介：ひらめき = ミツキ (MiMi) / 博士 = 栗原工房 / by イラスト AC

■ エッセイ講座とは

目的

エッセイ講座の目的は、自分で考えて、自分の意見を持ち、それを人に伝えるスキルを身につけることです。

トレーニングの流れ（思考プロセス）

当講座では、①～④の順番で、正解が1つではない問いに向き合うアタマの使い方をトレーニングします。

① 知識をインプットする（HOTS 借文資料）

▶p.2

▶p.3

まず、HOTS 借文資料を活用し、課題テーマに関連するキーワードや思考技術（分類・比較・5W1Hなど）の知識を自分の頭に取り込みます。**知識を借りたり、模倣したりすることから始めます。**他人の知識と自分の知識を結びつけ、新しいアイデアを生み出します。アイデアはしばしば言葉や概念の化学反応から生まれます。

② アイデアを書き出す（ブレインストーミング）

▶p.4

HOTS 借文資料でインプットした知識や、自分の経験や体験を通してアタマの中にしまい込んでいる知識から生まれたアイデアを紙の上に単語や熟語で書き出し、アイデアを概念で捉える力を養います。**ブレインストーミングはアイデアの質よりもアイデアの量が重要です。**

アイデアを20個以上書き、アイデアを3つ以上のグループに分け、グループに名前をつけます。

③ アイデアを型に沿って整理する（5段落エッセイ・アウトライン）

▶p.5

▶p.6

ブレインストーミングで出したアイデアをアウトラインに沿って整理します。アウトラインは5つの段落に分かれており、主要な2～4段落はパラグラフライティングの型で整理します。パラグラフライティングとは英語の段落（パラグラフ）の考え方を基にした文章の書き方です。**1つの段落（パラグラフ）の中では1つの「考え」が展開され、別の「考え」を入れてはいけません。**形式的には、段落（パラグラフ）の一番初めに主張したい「考え」を1つの文で書き、その後、その「考え」を「説明」する複数の文を書いて段落（パラグラフ）を構成します。

④ 説得力のある文章を書く（5段落エッセイ）

▶p.7

アウトラインで整理したアイデアを5段落エッセイの型で原稿用紙に書きます。**5つの段落の始めは1字下げで書きます。**